

科目名 (英)	オリエンテーション導入教育Ⅳ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	各担任
学科・コース	トータルビューティ科・全コース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15(1)	開講区分 曜日・時間	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【目的】 自分の将来を考え、社会人、企業人として、仕組みやマナーについて理解し、これからの学習について知識を身につける。							
【教員】社会経験13年以上ある教員が、社会に必要な知識「社会人基礎力」を中心に社会に必要な知識を教える。							
【授業を通じての到達目標】							
これからの学びについて意識向上を図り、授業を受ける体制を理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
講師作成資料・教材配布							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	【到達目標】卒業に向けて心構えを持つ 卒業までの身構え・気構え・心構えをもつ。						
2	【到達目標】クラス運営を理解する 自分の将来を考え目標設定ができる						
3	【到達目標】学びを理解する トータルビューティ科の学びについて理解する						
4	【到達目標】専門分野に必要な知識を知る 自分の進む道に必要な知識をしり、活躍できる人物を理解する。						
5	【到達目標】就職分野を知る 卒業後、3年後、5年後、具体的な目標を考えることができる。						
6	【到達目標】原宿キャンパスを理解する 学校がある原宿について理解し、原宿を知る。						
7	【到達目標】振り返り ここまでの振り返りを行い、今の自分を見つめ直す。						
8	【到達目標】ポートフォリオ作成 卒業にむけて自分の想いを書くことができる。						
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> <li>●評価はS・U・Eでおこなう。 S…合格(認定) U…不合格(認定せず) E…不合格(出席不良)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>			

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道Ⅳ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	各担任
学科・コース	トータルビューティ科・全コース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【目的】 自分の将来を考え、社会人、企業人として、仕組みやマナーについて理解し、対応力を身につける。 経済産業省が主催した有識者会議により、職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力を養う。 「社会人基礎力」チームで働く力①発信力 ②傾聴力 ③柔軟性 ④状況把握力 ⑤規律性 ⑥ストレスコントロール力							
【教員】社会経験13年以上ある教員が、社会に必要な知識「社会人基礎力」を中心に社会に必要な知識を教える。							
【授業を通じての到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人として仕事をスムーズに進められる方法、社会人として対応できる知識を理解する。</li> <li>・社会人としての知識を身につけ、説明できるようになる。</li> <li>・美容業界のプロとして社会人になる為の知識を深める。</li> </ul>							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
筆記用具、授業用ファイル(配布した使用はファイリングのうえ持参)							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	【到達目標】目標を見直す(人生100年時代・自分の人生を計画する) 現時点の進捗を確認し、修正の目標や到達点を考え行動変容に活かす。						
2	【到達目標】社会人基礎力6の重要性を伝えることができる グループに分かれて①主体性②働きかけ力③実行力考えぬき力④課題発見力⑤計画力⑥創造力を相手に伝えることが出来る。						4点
3	【到達目標】発信力を理解し自分から発信できる 自分の意見を分かりやすく表現し相手に伝えられる。						
4	【到達目標】伝達力を高めて報告・連絡・相談ができる力を身に付ける 社会人として相手に何かを伝えるときの方法を理解し、グループワークで実践できるようになる。						
5	【到達目標】プレゼンテーション力を身に付ける(発信力+伝達力の相乗効果) 進んで情報を発信し意見を分かりやすく、相手に行動変容させるように伝えられるようになる。						4点
6	【到達目標】傾聴力をつけて相手の話を理解し需要できる 伝言ゲームワークシートを活用し聴き上手になり、相手の話しやすい雰囲気を作る。						
7	【到達目標】中間試験 1～7週まとめを理解し説明できる。						中間テスト20点
8	【到達目標】企画力を発揮しイベントを提案できる クラスで行うイベントを自ら考え実行するための運営と役割を考える。「year-end party」						
9	【到達目標】柔軟性 相手の意見に耳を傾けて丁寧に聴く力を身に付ける。						4点
10	【到達目標】企画力を発揮する 「year-end party」を実施し考えたことを発揮する。						
11	【到達目標】状況把握力を身に付ける 情報を理解し整理することができ、相手に適切な情報を伝えることができる。						4点
12	【到達目標】多様な状況を整理し把握する力を身に付ける 情報を理解し整理することができ、相手に適切な情報を伝えることができる。						
13	【到達目標】規律性を学び社会人として心構えを持つ。 社会人としての必要な心構えを考え、グループで意見交換ができる。						4点
14	【到達目標】ストレスコントロール力を養う アンガーマネジメントを理解し自分を知る 感情のコントロールを知り、自分のタイプを理解しストレスの発生源に対応する力を養う。						
15	【到達目標】定期試験 定期試験の返却と解説						定期試験60点
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</li> <li>●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>			

科目名 (英)	コスメティック研究演習Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	深井ルミ
学科・コース	トータルビューティ科メイク専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30時間 2単位	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
お客様に対し適切な商品選択ができるために代表的な化粧品の訴求成分とその働きや効果について理解する。そして化粧品にとどまらず幅広い知識が持てるように美容医療についても理解する。 ※BA経験と、10年以上化粧品メーカーのコンサルティングと化粧品開発に携わってきた講師が担当する							
【授業を通じての到達目標】							
代表的な訴求成分の効果と働きを修得する。肌トラブルに対しての様々な美容医療施術についての知識を修得する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
講師作成資料							
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 授業説明・化粧品、医薬部外品、薬用化粧品の区別・保湿成分 【到達目標】 授業内容・目標を理解する 化粧品、医薬部外品、薬用化粧品の違いを理解する 保湿成分の種類と特徴、働きを理解する。			8	【授業単元】 医療美容について 【到達目標】 医療美容についての予備知識、導入施術、レーザー・光治療、高周波、超音波についてを理解する。		
2	【授業単元】 美白成分 その1 【到達目標】 美白成分の種類と特徴、働きを理解する。			9	【授業単元】 肌悩みと施術 ニキビ 赤ら顔・頬の赤み 【到達目標】 ニキビ 赤ら顔・頬の赤みに適した施術を理解する		
3	【授業単元】 美白成分 その2 【到達目標】 美白成分の種類と特徴、働きを理解する。			10	【授業単元】 肌悩みと施術 毛穴・ニキビ跡 【到達目標】 毛穴・ニキビ跡に適した施術を理解する		
4	【授業単元】 ピーリング成分 【到達目標】 ピーリング成分の種類と特徴、働きを理解する。			11	【授業単元】 肌悩みと施術 【到達目標】 シミ・くすみに適した施術を理解する		
5	【授業単元】 ハリ・弾力成分 【到達目標】 ハリ・弾力成分の種類と特徴、働きを理解する。			12	【授業単元】 肌悩みと施術 シワ 【到達目標】 シワに適した施術を理解する		
6	【授業単元】 抗酸化成分 【到達目標】 抗酸化成分の種類と特徴、働きを理解する。			13	【授業単元】 肌悩みと施術 たるみ 【到達目標】 たるみに適した施術を理解する		
7	【授業単元】 定期試験 筆記 【到達目標】 訴求成分の特徴、働きを理解しているか、成分名と特徴を振り分けることができる。			14	【授業単元】 肌悩みと施術 顔痩せ 切らない美容整形 【到達目標】 顔痩せに適した施術を理解する。切らない美容整形について理解する		
【評価について】 ●小テスト40点、定期試験60点、計100点満点  ●評価 A評価(80~100点)/B評価(70~79点)/C評価(60~69点) D評価(0~59点)不合格/E評価(出席不良・評価資格喪失)  ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				15	【授業単元】 定期試験 筆記 【到達目標】 様々な肌悩みに対して、適切な医療美容の施術を答えることができる。		
				【特記事項】			

科目名 (英)	ブランド別メイク理論&演Ⅲ	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	福島 裕司
学科・コース	トータルビューティー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60(4)	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
25年以上メイクアップの仕事に関わってきました。複数の美容専門学校で15年以上教育にも携わっております。JESC検定の問題作成、テキスト「Basic Makeup」の監修、ヘアメイクにも携わる。(深井) 美容業界で20年以上関わってきました。CMや舞台、雑誌のヘアメイクなど、お客様のキレイの基準向上に取り組んでいる。(福島) 百貨店ブランドについて深く知り、ブランド別のイメージや商品の特徴なども理解できるようにする。 ブランドイメージのメイクアップが出来るようになる。 リサーチ力、スピーチ力を高め習得する							
【授業を通じての到達目標】							
ブランドの特徴や商品の違いを理解し、ブランドイメージに合わせてメイクアップができるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
プリント(補助教材)							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	化粧品業界について						
2	外資系ブランド ①					小テスト4点	
3	外資系ブランド ②						
4	国産ブランド ①					小テスト4点	
5	国産ブランド ②						
6	リサーチ&プレゼンテーション						
7	最新クリスマスコフレ					中間テスト20点	
8	メイク実習とプレゼンテーション						
9	外資系ブランド ③					小テスト4点	
10	国産ブランド ③						
11	2022年 春メイク					小テスト4点	
12	人気ブランドを知る1						
13	人気ブランドを知る2					小テスト4点	
14	メイク実習とプレゼンテーション						
15	メイク実習とプレゼンテーション					定期試験60点	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</li> <li>●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>			

科目名 (英)	販売促進メイク演習Ⅱ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	久保
学科・コース	トータルビューティ科メイク専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	後期
【学習の目的】 (*実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
*外資系化粧品ブランドメイクアップアーティスト兼、MV、TV、広告等のヘアメイクに携わる講師が担当。 メイクアップの解説、伝達出来るようになる。							
【授業を通じての到達目標】							
完成させたメイクをステップ毎に説明出来るようになる。自身の施したメイクのプレゼンテーションが出来るようになる。ポイントメイクのタッチアップが出来るようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
メイク道具一式、筆記用具							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	フェイスチャートの描き方						
2	フルメイク、フェイスチャート						
3	フルメイク、フェイスチャート						
4	フルメイク、フェイスチャート、ステップの解説文					5	
5	フルメイク、フェイスチャート、ステップの解説文						
6	描いたフェイスチャートを相モデルで交換し、指示通りにフルメイク					5	
7	描いたフェイスチャートを相モデルで交換し、指示通りにフルメイク						
8	中間テスト メイク実技、フェイスチャート、時間内仕上げ					20	
9	ポイントメイクのリタッチ法						
10	ポイントメイクのリタッチ法						
11	お客様のお悩みに応じた提案、ポイントメイクリタッチ						
12	お客様のお悩みに応じた提案、ポイントメイクリタッチ					5	
13	お客様のリクエストに応じた提案、フルメイク						
14	お客様のリクエストに応じた提案、フルメイク					5	
15	定期試験 (フルメイク、タイム取り)					60	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</li> <li>●評価</li> <li>A評価 (90~100点) / B評価 (80~89点) / C評価 (70~79点) D評価 (60~69点)</li> <li>E評価 (出席不良・評価資格喪失) / F評価 (0~59点・不合格)</li> <li>●評価方法</li> <li>評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>			

科目名	ファッションメイク演習	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	久保 周平
学科・コース	トータルビューティー科メイク専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60(4)	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) メイク基礎知識に加え、様々なジャンルを知り、現場や作品作りで応用力を身につける ヘアメイク25年 広告・テレビ・タレント専属・雑誌・ブライダル・健康美容サロン経営 の講師が担当します。							
【授業を通じての到達目標】 メイク基礎知識に加え、様々なジャンルを知り、現場や作品作りで応用力を身につける							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
プリント(補助教材)							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	テーマ別① 撮影に向けてテーマに沿った作品のデザイン、手順を考える						
2	テーマ別①撮影会						小テスト4点
3	テーマ別② 撮影に向けてテーマに沿った作品のデザイン、手順を考える						
4	テーマ別② 撮影会						小テスト4点
5	定期試験テーマ別撮影会の各自テーマを考え、作品を構成する						
6	コンセプトシートに沿って時間内にヘアメイクを完成させ構成の最終確認を行う						
7	各自作品の構成を考え計画を立てながら自分の作品を完成させる						中間テスト20点
8	トレンド別: 撮影に向けてテーマに沿った作品のデザイン、手順を考える						
9	トレンド別 撮影会						小テスト4点
10	トレンド別: 撮影に向けてテーマに沿った作品のデザイン、手順を考える						
11	トレンド別 撮影会						小テスト4点
12	トレンド別: 撮影に向けてテーマに沿った作品のデザイン、手順を考える						
13	トレンド別 撮影会						小テスト4点
14	定期テスト撮影会へ向けて各自テーマを考え、作品を構成する						
15	コンセプトシートに沿って時間内にヘアメイクを完成させ構成の最終確認を行う						定期試験60点
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	ビューティセルフケア演習	必修 選択	年次	2	担当教員	内藤麻代
学科・コース	トータルビューティー科メイク分野	授業 形態	総時間 (単位)	60(4)	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) コスメブランド商品を使用しホームケア方法などを学ぶ。自身のケア方法をトータルで学び、ビューティアドバイザーとして具体的にアドバイスができるようになる。担当講師:日々接客において、ダイエットや肌トラブルなどの美容上のお悩みを持たれるお客様に対して、様々な視点からお悩み解消の為、より具体的な(食事・運動・化粧品・ケア方法・日常生活等)アドバイスをし、多くのお客様から信頼を得ている。						
【授業を通じての到達目標】  美容コスメを使用し、商品について理解を深める。ダイエット、食事、運動、セルフマッサージ、美肌ケアなどを学び、セルフケアができるようになる。またお客様などへ、アドバイスできる知識を深める。						
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】		
回	授 業 概 要					テスト配点
1	ボディチェック(BMI、目標体重、サイズなど)についてボディ用コスメブランドの商品を調べる					
2	ダイエット(食事)について、ボディ用スリミング化粧品について					小テスト4点
3	ダイエット(推奨運動)について、マッサージ、ケア方法について					
4	ハンドマッサージを学ぶ					小テスト4点
5	ヘッドマッサージを学ぶ					
6	ハンドマッサージ、ヘッドマッサージのケアができるようになる					
7	中間テスト(ハンドマッサージ、ヘッドマッサージ)					中間テスト20点
8	肌チェック(スキンスキャナー)、ケア方法について					
9	フェイシャル美容機器について(スチーマー、吸引)					小テスト4点
10	フェイシャルゴマージュ、パックを使用したセルフケア					
11	美容ドリンクについて学ぶ					小テスト4点
12	フレグランスについて学ぶ					
13	悩みに合わせたボディケア、フェイシャルケア					小テスト4点
14	悩みに合わせたボディケア、フェイシャルケア					
15	定期試験(ボディケア、フェイシャルケア)					定期試験60点
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。		

科目名	メイク総合演習	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	関 亜沙美
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60(4)	開講区分	後期
学科・コース	トータルビューティー科						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
メイクアップに携わる者として必要な化粧品・メイクアップの起源や歴史を調べ学び、近現代に於ける時代背景と流行ったメイクアップ、また様々な出来事や風俗、ファッション、ヘアスタイル、音楽、映画やその時代を代表する人物を知り、各時代の雰囲気をつ捉えたと上で知識とメイクアップテクニックを身につける。 経歴:化粧品会社のインストラクター、美容部員の教育、プロヘアメイクスクールの講師を務める							
【授業を通じての到達目標】							
化粧の起源や各時代の時代背景、メイクアップの流行を把握し現場に出る前の基礎知識を身につける。また1年生で学び修得してきた基本的なパーツメイクの組み合わせを 駆使し、応用させて1920年、1950年、1960年、1970年、各年代の流行のメイクアップパターンを理解し左右対称に仕上げ、テクニックを向上させる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
メイク道具一式 筆記用具 年代別メイク専用ファイル				各年代に於ける時代背景や出来事、流行のメイクアップ、ファッション、ヘアスタイル、音楽、映画、人物など興味のある分野のレポート作成			
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	化粧の起源から古代、中世、近代の流行のメイクアップ						
2	1920年代～1930年代の時代背景と流行のメイクアップ等を理解					小テスト4点	
3	1920年代～1930年代の流行のメイクアップテクニック						
4	1920年代～1930年代のメイクアップテクニックを身につける					小テスト4点	
5	1950年代の時代背景と流行のメイクアップなどを理解する						
6	1950年代の流行のメイクアップテクニックを理解する						
7	1950年代の流行のメイクアップテクニックを身につける					中間テスト20点	
8	1960年代の時代背景と流行のメイクアップなどを理解する						
9	1960年代の流行のメイクアップテクニックを理解する					小テスト4点	
10	1960年代の流行のメイクアップテクニックを身につける						
11	1970年代の時代背景と流行のメイクアップなどを理解する					小テスト4点	
12	1970年代の流行のメイクアップテクニックを理解する						
13	1970年代の流行のメイクアップテクニックを身につける					小テスト4点	
14	1950年代の流行のメイクアップの2パターンのテクニックをしっかりと身につける						
15	1970年代の流行のメイクアップパターンのフェイスチャートを作成し、50分間で相モデルにてフルメイクを仕上げる					定期試験60点	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</li> <li>●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>			



科目名 (英)	撮影実習・卒業制作※集中授業	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	久保 周平
学科・コース	トータルビューティー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15(1)	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 最新のトレンドを学び、新しい技術を身につける。学んだ知識や技術をモデルに施術し、撮影し作品を残す * 外資系化粧品ブランドメイクアップアーティスト兼、MV、TV、広告等のヘアメイクに携わってきた講師が担当する							
【授業を通じての到達目標】 自身の技術を作品撮影に提供できるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
メイク道具一式、筆記用具、配布プリント用ファイル							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	撮影コンセプト作成 モデル施術練習 衣装決め・場所決め					40点	
2							
3							
4							
5	モデル施術実施 撮影フレーム作成 作品撮影実施					60点	
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</li> <li>●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>			

科目名	課外授業	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	各担任
学科・コース	トータルビューティ科メイクコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【目的】 外部に出ることによって感性を刺激して最新の美容・ファッション・社会人としてマナー等を理解し知識を身につける。 【教員】社会経験13年以上ある教員が、社会に必要な知識「社会人基礎力」を中心に社会に必要な知識を教える。							
【授業を通じての到達目標】  最新の美容・ファッションを理解し、自分の目指す選考を考え選択ができる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
講師作成資料・教材配布							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	【到達目標】進級に向けて心構えを持つ 進級の身構え・気構え・心構えをもつ。						
2	【到達目標】選考別の仕事を理解する 自分の将来を考え目標設定ができる						
3	【到達目標】学びを理解する トータルビューティ科の学びについて理解する						
4	【到達目標】専門分野に必要な知識を知る 自分の進む道に必要な知識をしり、活躍できる人物を理解する。						
5	【到達目標】就職分野を知る 卒業後、3年後、5年後、具体的な目標を考えることができる。						
6	【到達目標】原宿キャンパスを理解する 学校がある原宿について理解し、原宿を知る。						
7	【到達目標】振り返り ここまでの振り返りを行い、今の自分を見つめ直す。						
8	【到達目標】ポートフォリオ作成 卒業にむけて自分の想いを書くことができる。						
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 ●評価はS・U・Eでおこなう。 S…合格(認定) U…不合格(認定せず) E…不合格(出席不良)  ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	ネイル検定演習Ⅲ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	小宮 弥生
学科・コース	トータルビューティー科 ネイル専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120(8)	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
卒業制作を通じて様々なジェルアートの技法を修得し、サロンワークに必要な技術も身に付ける ジェル検定上級ではサロンワークに必要な専門的技術と知識を修得し、作業を時間内に収める技術を身に付ける ※日本ネイリスト協会 常任本部認定講師、本部認定講師、JNECネイリスト技能検定試験管、JNAジェルネイル検定試験管経験者、JNA衛生管理士動員、JNAフットケア理論検定試験指導員が実施							
【授業を通じての到達目標】							
様々なデザインの模倣から独自のデザインを生み出すことができる ジェルチップオーバーレイとデザインの手順を覚え、実施することができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
JNAテクニカルシステムジェルネイル JNAテクニカルシステムアドバンス							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	卒業チップ作成 ミックスメディアアート						
2	卒業作成 ミックスメディアアート or 1級						
3	チップオーバーレイ&フラワー or 1級						
4	チップオーバーレイ&フラワー チップオーバーレイ&フレンチルック or 1級						小テスト20点
5	ジェル検定上級タイムトライアル 右手人差し指・中指:ジェルスカルプチュア 右薬指:チップオーバーレイ&フラワー 左中指:チップオーバーレイ 左薬指:チップオーバーレイ&フレンチルック 85分						
6	ジェル検定上級タイムトライアル 右手人差し指・中指:ジェルスカルプチュア 右薬指:チップオーバーレイ&フラワー 左中指:チップオーバーレイ 左薬指:チップオーバーレイ&フレンチルック 85分						
7	ジェル検定上級タイムトライアル 右手人差し指・中指:ジェルスカルプチュア 右薬指:チップオーバーレイ&フラワー 左中指:チップオーバーレイ 左薬指:チップオーバーレイ&フレンチルック 85分						
8	ジェル検定上級タイムトライアル 右手人差し指・中指:ジェルスカルプチュア 右薬指:チップオーバーレイ&フラワー 左中指:チップオーバーレイ 左薬指:チップオーバーレイ&フレンチルック 85分						小テスト20点
9	ジェル検定上級タイムトライアル 右手人差し指・中指:ジェルスカルプチュア 右薬指:チップオーバーレイ&フラワー 左中指:チップオーバーレイ 左薬指:チップオーバーレイ&フレンチルック 85分						
10	ジェル検定上級タイムトライアル 右手人差し指・中指:ジェルスカルプチュア 右薬指:チップオーバーレイ&フラワー 左中指:チップオーバーレイ 左薬指:チップオーバーレイ&フレンチルック 85分						
11	ジェル検定上級タイムトライアル 右手人差し指・中指:ジェルスカルプチュア 右薬指:チップオーバーレイ&フラワー 左中指:チップオーバーレイ 左薬指:チップオーバーレイ&フレンチルック 85分						
12	ジェル検定上級タイムトライアル 右手人差し指・中指:ジェルスカルプチュア 右薬指:チップオーバーレイ&フラワー 左中指:チップオーバーレイ 左薬指:チップオーバーレイ&フレンチルック 85分						中間テスト20点
13	フットケアカラー 相モデル						
14	フット 角質ケア トリートメント 相モ						
15	フットジェル ワンカラー(赤)						定期試験60点
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	ジェルネイル演習Ⅲ		必修 選択	必修	年次	2	担当教員	内田 由香
学科・コース	トータルビューティー科 ネイル専攻		授業 形態	実技	総時間 (単位)	90(6)	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)								
ジェル検定上級ではサロンワークに必要なジェルネイルのスペシャリストとして必要とされる総合的技術と知識を修得し身に付ける サロンワークに必要なアクリルネイルの技術、アクリルスカルプチュアのカラーグラデーション、タイダイ、フレンチのバランスを覚え アプリケーションからシャイニングまでの技術を習得する ※日本ネイリスト協会 常任本部認定講師、本部認定講師、JNECネイリスト技能検定試験管、JNAジェルネイル検定試験管経験者、JNA衛生管理士動員、JNAフットケア理論検定試験指導員が実施								
【授業を通じての到達目標】								
ブラシワークを模倣し、規定の形に形成することができる ファイリングを少なくできるようにアプリケーションができる アートを繊細に仕上げることができる デザインスカルプチュアのアプリケーションを修得する。パウダーの調合の割合と強度の関係を理解する。								
【使用教科書・教材・参考書】					【授業外における学習】			
JNAテクニカルシステムジェルネイル JNAテクニカルシステムアドバンス								
回	授 業 概 要						テスト配点	
1	ジェルスカルプチュア 5mm～10mm or 1級練習							
2	ジェルスカルプチュア 5mm～10mm or 1級練習							
3	ジェルスカルプチュア 5mm～10mm or 1級練習							
4	ジェルスカルプチュア 5mm～10mm or 1級練習						小テスト20点	
5	ジェルチップオーバーレイ+フレンチルック ジェルチップオーバーレイ+フラワー							
6	ジェルチップオーバーレイ+フレンチルック ジェルチップオーバーレイ+フラワー							
7	ジェルチップオーバーレイ+フレンチルック ジェルチップオーバーレイ+フラワー						中間テスト20点	
8	アクリルデザインスカルプチュア タイダイ カラーグラデーション白							
9	アクリルデザインスカルプチュア ラメグラデーション2種 エンボス埋め込み							
10	フレンチスカルプチュア							
11	フレンチスカルプチュア							
12	ジェル検定上級タイムトライアル ※モデル同伴可能 ※ディフェンダーあり							
13	ショートスカルプチュア (オーバル3mm)							
14	ショートスカルプチュア (オーバル3mm)							
15	ショートスカルプチュア (オーバル3mm)						定期試験60点	
【特記事項】					【評価について】			
					<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</li> <li>●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>			

科目名 (英)	ネイル総合演習&サロン演習Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	戸川 智尋
学科・コース	トータルビューティー科 ネイル専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90(6)	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>コンテストを通じて様々なジェルアートの技法を修得し、サロンワークに必要な技術も身に付ける          サロンワークに必要な基本的なアートを修得する          エアブラシの使用方法を修得する          マシンでのプレパレーション、フィルイン、ジェルオフの修得          ※日本ネイリスト協会 常任本部認定講師、本部認定講師、JNECネイリスト技能検定試験管、JNAジェルネイル検定試験管経験者、JNA衛生管理士動員、JNAフットケア理論検定試験指導員が実施</p>							
【授業を通じての到達目標】							
<p>ジェルアートのプランワークを模倣によって修得し、描くことができる          エアブラシの基本的操作ができる          マシンでのプレパレーション、フィルイン、ジェルオフを安全に施術することができる</p>							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
JNAテクニカルシステムジェルネイル JNAテクニカルシステムアドバンス							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	卒業制作 チップ作成						
2	卒業制作 チップ作成						
3	サロンジェルアートサンプル作成 タイダイ、マーブル、大理石、ラメグラ(オーロラ メタリック)、ハーフフレンチ						
4	サロンジェルアートサンプル作成 タイダイ、マーブル、大理石、ラメグラ(オーロラ メタリック)、ハーフフレンチ						
5	サロンジェルアートサンプル作成 タイダイ、マーブル、大理石、ラメグラ(オーロラ メタリック)、ハーフフレンチ						
6	サロンジェルアートサンプル作成 タイダイ、マーブル、大理石、ラメグラ(オーロラ メタリック)、ハーフフレンチ						小テスト20点
7	ジェルアート ラメグラ(メタリック)片手5本 相モデル						
8	エアブラシ ワンカラー グラデーションテクニック						
9	エアブラシのマスキングテクニック						
10	マシン ジェルオフ(ブラクティスハンド) プレパレーション(自爪)						
11	マシン ジェルオフ(ブラクティスハンド) プレパレーション(自爪)						中間テスト20点
12	マシン フィルイン[一層残し](ブラクティスハンド)						
13	チップにクリアベースのフレンチ						
14	チップにクリアベースのホワイトグラデーション						
15	マシン プレパレーション、ジェルワンカラー、オフ 自爪						定期試験60点
【特記事項】				【評価について】			
				<p>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</p> <p>●評価          A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点)          E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)</p> <p>●評価方法          評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</p>			

科目名 (英)	特別授業※集中授業	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	戸川 智尋
学科・コース	トータルビューティー科・ネイル専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15(1)	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ネイリスト技能検定2級に合格する為に サロンワークに通用するネイルケア、リペア、チップ&ラップ、アートに関する基本的な知識を理解し、技術を修得する アクリルネイルの基本的知識とを理解し、イクステンションの技術を修得する							
※日本ネイリスト協会 常任本部認定講師、本部認定講師、JNECネイリスト技能検定試験管、JNAジェルネイル検定試験管経験者、JNA衛生管理士動員、JNAフットケア理論検定試験指導員が実施							
【授業を通じての到達目標】							
ネイリスト技能検定2級に合格できるレベルに達している ファイリング、メタルフッシャー、キューティクルニッパーのハンドリングを模倣によって修得し、正しく安全に操作することができる カラーリングはムラがなくライン取りができ、アートはムラがなくバランス良く繊細に仕上げることができる アクリルネイルのイクステンション(スカルプチュアネイル、チップ&オーバーレイ)のアプリケーション～シャイニングまで仕上げることができる、 フォルムが正しく均一に形成され、表面が滑らかにつながっている							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
JNAテクニカルシステムアドバンス JNAテクニカルシステムジェルネイル 配布教材 ビニール袋 セロテープ キッチンペーパー 筆記用具 メモ帳							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	ネイリスト技能検定試験2級 タイムトライアル ※前日までにケアの仕込みを各自で行う 事前仕込み30分で準備し、ケア35分 チップラップ(左人差指)・カラーリング・ネイルアート(右手人差指) 55分						
2	ネイリスト技能検定試験2級 タイムトライアル ※前日までにケアの仕込みを各自で行う 事前仕込み30分で準備し、ケア35分 チップラップ(左人差指)・カラーリング・ネイルアート(右手人差指) 55分					小テスト20点	
3	教材説明 ジェルの基礎知識(プリント) ブラシの下ろし方 ジェルの管理と保管 プレパレーション ジェルカラーリング(赤) ジェルオフ 過去問題は配布 (自爪)						
4	アクリル フローター(プラクティスハンドでショート、ロング)、ファイリング基礎					20点	
5	アクリルイクステンション チップオーバーレイ/スカルプチュアネイル (プラクティスハンド)						
6	アクリルイクステンション チップオーバーレイ/スカルプチュアネイル (プラクティスハンド)						
7	アクリルイクステンション チップオーバーレイ/スカルプチュアネイル (プラクティスハンド)						
8	アクリルイクステンション チップオーバーレイ/スカルプチュアネイル (プラクティスハンド)					60点	
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	エステティック理論Ⅲ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	佐野 みゆき
学科・コース	トータルビューティ科エステ分野	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
エステティシャンとして実技と運動した知識を身につけ検定試験に合格する							
【授業を通じての到達目標】							
AEA上級認定試験、AJESTHE上級認定試験で必要となる衛生・消毒、実技理論、コンサルテーションを理解しスムーズに実践できるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
AEAテキスト、新エステティック学 理論編Ⅱ							
回	授業概要			回	授業概要		
1	<b>【授業単元】</b> 衛生・消毒 <b>【到達目標】</b> ・衛生・消毒の大切さを理解する ・施設の衛生管理を知る			9	<b>【授業単元】</b> フェイシャル実技理論② <b>【到達目標】</b> ・肌タイプと肌トラブルに合ったコースを考え提案できるようになる ・化粧品を選び方を学ぶ		
2	<b>【授業単元】</b> 電気機器の種類と原理 <b>【到達目標】</b> ・エステティックで使用する電気機器の種類と原理を知る ・電気機器の活用方法を知る ・電気機器を使用する際の禁忌事項を覚える			10	<b>【授業単元】</b> フェイシャル実技理論③ <b>【到達目標】</b> ・肌タイプと肌トラブルに合ったコースを考え提案できるようになる ・肌タイプ別の機器の選び方を学ぶ		
3	<b>【授業単元】</b> ボディ実技理論① <b>【到達目標】</b> ・ボディケアの目的を理解する ・体型の確認(筋肉・脂肪)を覚える ・ボディケアでの禁忌事項を覚える			11	<b>【授業単元】</b> フェイシャル実技理論④ <b>【到達目標】</b> フェイシャルケア後のカウンセリングとホームケアアドバイスを学ぶ (肌タイプ別/肌トラブル別)		
4	<b>【授業単元】</b> ボディ実技理論② <b>【到達目標】</b> ・ボディ化粧品の種類と目的を知る ・お体の状態と目的に合わせたコースを考え提案できるようになる (下半身のサイズダウン)			12	<b>【授業単元】</b> フェイシャル実技理論⑤ <b>【到達目標】</b> お悩みに応じたコースの提案、ホームケアアドバイスをコンサルテーションシートに記入し、アドバイスの実践ができるようになる		
5	<b>【授業単元】</b> ボディ実技理論③ <b>【到達目標】</b> お体の状態と目的に合わせたコースを考え提案できるようになる ウェイトダウン			13	<b>【授業単元】</b> 施術前のカウンセリング <b>【到達目標】</b> ・カウンセリングの方法(問診、視診、触診)を覚え実践できるようになる		
6	<b>【授業単元】</b> ボディ実技理論④ <b>【到達目標】</b> お体の状態と目的に合わせたコースを考え提案できるようになる ウェスト、上半身サイズダウン			14	<b>【授業単元】</b> コンサルテーション <b>【到達目標】</b> ボディケア、フェイシャルケアのカウンセリングからコンサルテーションシート記入、コース提案までを決められた時間内でできるようになる		
7	<b>【授業単元】</b> 定期試験 <b>【到達目標】</b> お悩みに応じたコースの提案、ホームケアアドバイスをコンサルテーションシートに記入することができる			15	<b>【授業単元】</b> 定期試験 <b>【到達目標】</b> 検定試験と同様の時間内で肌、体型の見極めしカウンセリングの後コース提案、化粧品選定、ホームケアアドバイスがコンサルテーションシートに記入できる		
8	<b>【授業単元】</b> フェイシャル実技理論① <b>【到達目標】</b> ・フェイシャルケアの目的 ・肌状態のチェック方法を知る ・禁忌事項を覚える			<b>【評価について】</b> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
【特記事項】				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	フェイシャル演習Ⅲ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	内藤 麻代
学科・コース	トータルビューティー科エステ分野	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分 曜日・時間	後期
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
日本エステティック協会 (AJESTHE)の資格について理解し、実技試験に合格するための技術、知識を身につける。							
※講師はエステティシャンとして数多くのお客さまの美容上のお悩みをケアした経験を持つ (講師歴12年目)。							
※保有資格: AEA認定講師、AJESTHE認定講師、AJESTHE認定トータルエステティックアドバイザー、CIDESCOインターナショナルエステティシャン、美容師免許							
【授業を通じての到達目標】							
AJESTHE認定上級エステティシャン実技試験合格 ・スキントラブル改善トリートメントをスムーズに行えるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
AEA教科書 (皮膚科学)、 (フェイシャル実技理論)、AJESTHE教科書 (新エステティック学)、ディープクレンジングマニュアル、実技準備物一式							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	オリエンテーション AJESTHE認定上級試験対策 クレンジング・コンセルション・ディープクレンジング 機器、フッサ、シ、パック、仕上げ						
2	AJESTHE認定上級試験対策 技術の向上と口頭試問						小テスト 4点
3	AJESTHE認定上級試験対策 技術の向上と口頭試問						
4	フェイシャルクリーンアップコース 毛孔詰まりの特徴・要因を学び、ケアコースを組み立て、トリートメントができるようになる						小テスト 4点
5	フェイシャルニキビ (敏感肌) ケアコース ニキビ (敏感肌) の特徴・要因を学び、ケアコースを組み立て、トリートメントができるようになる						
6	フェイシャルシミケアコース シミの特徴・要因を学び、ケアコースを組み立て、トリートメントができるようになる						
7	中間テスト クライアントに効果的なプランを立てて、スムーズにトリートメントができるようになる						中間テスト 20点
8	フェイシャルクスマケアコース クスマの特徴・要因を学び、ケアコースを組み立て、トリートメントができるようになる						
9	フェイシャルエイジングケアコース しわ、たるみの特徴・要因を学び、ケアコースを組み立て、トリートメントができるようになる						小テスト 4点
10	フェイシャル保湿ケアコース 乾燥肌の特徴・要因を学び、ケアコースを組み立て、トリートメントができるようになる						
11	フェイシャル小顔 (むくみ) ケアコース むくみの特徴・要因を学び、ケアコースを組み立て、トリートメントができるようになる						小テスト 4点
12	美容ライト 美容ライト機器の理論を理解する						
13	美容ライト 美容ライト機器を安全に使用できるようになる						小テスト 4点
14	美容ライト 美容ライト機器を使用したトリートメントコースができるようになる						
15	定期試験 クライアントに適したプランを組み立て、スムーズにトリートメントができるようになる						定期試験 60点
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価 (90~100点) / B評価 (80~89点) / C評価 (70~79点) D評価 (60~69点) E評価 (出席不良・評価資格喪失) / F評価 (0~59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価			



科目名 (英)	ボディ演習Ⅲ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	福岡 佐智代
学科・コース	トータルビューティ科 エステ分野	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120(8)	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
様々なハンドテクニックを理解し、各技術の習得ができるようになる。 ※エステティック講師、エステティシャンとして長年経験し、現在まで数多くのお客様方のケアをしている							
【授業を通じての到達目標】							
ボディエステティックを通し、各マッサージや目的や効果・テクニックを学び、トリートメント方法を修得する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
各技術のプリント、ボディ実技準備物一式							
回		回	授 業 概 要				
1	【授業単元】ストーンセラピーについて  【到達目標】 ストーンセラピーについて理解を深め、トリートメント方法を修得する。	9	【授業単元】ハーブボールについて  【到達目標】 ハーブボールのあて方、温度に注意し、トリートメントすることができる。				
2	【授業単元】ストーンセラピーについて  【到達目標】 スムーズにストーンを配置し、効果的なトリートメントができるようになる。	10	【授業単元】痩身トリートメントについて  【到達目標】 ボディタイプを理解し、痩身ケアに効果的な機器・マッサージを行うことができる。				
3	【授業単元】タイ古式マッサージについて  【到達目標】 タイ古式マッサージについて(セン)理解を深め、マッサージ・ストレッチ方法を修得する。	11	【授業単元】痩身トリートメントについて  【到達目標】 化粧品の特徴・効果を理解し、痩身トリートメントすることができる。				
4	【授業単元】タイ古式マッサージについて  【到達目標】 お客様に無理のない姿勢・リズムでストレッチすることができるようになる。	12	【授業単元】痩身トリートメントについて  【到達目標】 お客様の要望(悩み)に合わせた痩身ケアをすることができる。				
5	【授業単元】ヘッドマッサージについて  【到達目標】 頭のツボ・筋肉・神経を理解し、マッサージすることができる。	13	【授業単元】デコルテ・ヘッドマッサージについて  【到達目標】 お客様と呼吸を合わせ、適度な力加減でマッサージすることができる。				
6	【授業単元】ストーンセラピー・タイ古式マッサージについて  【到達目標】 それぞれの特徴を理解し、お客様の状態に合わせてトリートメントすることができる。	14	【授業単元】ハーブボール・痩身トリートメントについて  【到達目標】 お悩みに合わせたトリートメントができるようになる。的確なアドバイス(生活習慣・食事等)ができるようになる				
7	【授業単元】中間テスト  【到達目標】 実技試験 ご案内～ストーンセラピー～タイ古式マッサージの一連の流れ	15	【授業単元】定期テスト  【到達目標】 実技試験 ご案内～ハーブボール～痩身トリートメントの一連の流れ				
8	【授業単元】ハーブボールについて  【到達目標】 ハーブボールについて理解を深め、トリートメントすることができる。	【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
【特記事項】							

科目名	トリートメント演習	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	内藤 麻代
学科・コース	トータルビューティ科 エステ分野	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60(4)	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
様々な業界内でのテクニックを学ぶために、各種ハンドテクニックを理解し、技術の修得をする。 プロのエステティシャンとしての所作、振る舞いを学ぶ。 20年以上エステサロンで実務経験を積んだ講師が授業を行う。							
【授業を通じての到達目標】							
各トリートメント内容(目的・効果)を理解し、接客を想定し説明、トリートメントができるように実施する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
各トリートメントのテキスト(プリント)選択科目編 実技準備物一式							
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 リンパドレナージュ概論・接客英語 【到達目標】 ・リンパドレナージュのテクニック目的・効果を理解する。全身のリンパ管・リンパ節の分布と特徴、その流れを理解する。 ・簡単な英語でのご挨拶と自己紹介ができるようになる。			9	【授業単元】 ダーマロジカ見学 【到達目標】 ダーマロジカ見学		
2	【授業単元】 リッツカールトンスパの見学 【到達目標】 リッツカールトンのスパ見学、質疑応答。5つ星ホテルのスパを知り、どんな仕事をし、トリートメントを行なっているのかを知る。			10	【授業単元】 リンパドレナージュ手順・フェイシャル/接客英語 【到達目標】 ・フェイシャルのテクニック・ポンパーージュ〜ドレナージュを連続してできるようになる。 ・接客英語の基礎(体の状態を伝える/強さ等の確認)		
3	【授業単元】 フェイシャル・ポンパーージュ〜ドレナージュ手順 【到達目標】 ・ポンパーージュの必要性を理解し、主要なリンパ節のポンパーージュができるようになる。(マニュアル1〜16デモ)			11	【授業単元】 リンパドレナージュ復習/接客英語 【到達目標】 ・フェイシャルリンパドレナージュのテクニックが連続してできるようになる。 ・接客英語の基礎(体の部位の名称/ベッドに寝かせる際の誘導例)		
4	【授業単元】 リンパドレナージュ手順・フェイシャル/接客英語 【到達目標】 ・フェイシャルのテクニック・ポンパーージュ〜ドレナージュを連続してできるようになる。(マニュアル17〜27)			12	【授業単元】 リンパドレナージュ復習・石膏マスク 【到達目標】 ・フェイシャルリンパドレナージュのテクニックが連続してできるようになる。石膏マスクを扱えるようになる。(デモ)		
5	【授業単元】 リンパドレナージュ復習/接客英語 【到達目標】 ・フェイシャルリンパドレナージュのテクニックが連続してできるようになる。 ・英語で簡単なご案内ができるようになる。(日時・時間の言い方)			13	【授業単元】 【到達目標】 なし(課題対応)		
6	【授業単元】 リンパドレナージュ復習/接客英語 【到達目標】 ・フェイシャルリンパドレナージュのテクニックが連続してできるようになる。 ・接客英語の基礎(サロンでよく使用する動詞・名詞)			14	【授業単元】 【到達目標】 なし(課題対応)		
7	【授業単元】 ※中間テスト リンパドレナージュフェイシャル工程 【到達目標】 フェイシャルリンパドレナージュのテクニックが連続してできるようになる。(45点) 筆記・接客英語の基礎(15点)			15	【授業単元】定期テスト リンパドレナージュフェイシャル工程・石膏マスク 【到達目標】 フェイシャルリンパドレナージュのテクニックが連続してできるようになる。石膏マスクを扱えるようになる。(60点)		
8	【授業単元】 リンパドレナージュ手順・フェイシャル/接客英語 【到達目標】 ・フェイシャルのテクニック・ポンパーージュ〜ドレナージュを連続してできるようになる。 ・接客英語の基礎(美容に関する英単語/工程を説明する)			【評価について】 ●小テスト20点、定期テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90〜100点)/B評価(80〜89点)/C評価(70〜79点)/D評価(60〜69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0〜59点・不合格)			
【特記事項】				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	アロマテラピー演習	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	内藤麻代
学科・コース	トータルビューティー科 エステ分野	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	後期
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
生活の中やサロンワークなどでもアロマテラピーは一般的に広く活用されています。アロマテラピーを安全により効果的に活用するためにアロマテラピーの基本を学び、エステティシャン、セラピストとしての知識の幅を身に着ける。※サロンワークにてアロマを使ったマッサージ等を行う。また地域でのアロマクラフト講座やアロマを使ったボランティア活動などにも携わる。							
【授業を通じての到達目標】							
アロマテラピー検定1級合格							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
アロマテラピー検定テキスト、精油セット							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	アロマテラピーの基本について、精油について (P.8～26)						
2	アロマテラピーの安全性について、アロマテラピーを実践する (P.28～54) 精油 (イランイラン)						小テスト4点
3	精油のプロフィールについて (ゼラニウム～ローマンカモミール) 20種						
4	アロマクラフト (スプレー)、アロマテラピーメカニズム、ビューティー&ヘルスケア (P.56～)						小テスト4点
5	アロマテラピーの歴史、法律、検定試験について						
6	アロマテラピー検定対策						
7	中間テスト (筆記試験)						中間テスト20点
8	アロママッサージ実習 (リフレ・ハンド)						
9	アロママッサージ実習 (ヘッド)						小テスト4点
10	アロママッサージ実習 (モデルのお悩みにあわせてブレンドとケア)						
11	アロママッサージ実習 (モデルのお悩みにあわせてブレンドとケア) ・アロマクラフト						小テスト4点
12	アロママッサージ実習 (モデルのお悩みにあわせてブレンドとケア)						
13	アロママッサージ実習 (モデルのお悩みにあわせてブレンドとケア) ・アロマクラフト						小テスト4点
14	アロママッサージ実習 (モデルのお悩みにあわせてブレンドとケア)						
15	定期試験 (アロママッサージ)						定期試験60点
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価 (90～100点) / B評価 (80～89点) / C評価 (70～79点) D評価 (60～69点) E評価 (出席不良・評価資格喪失) / F評価 (0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価			

科目名 (英)	サロン演習Ⅲ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	小野ありさ
学科・コース	トータルビューティ科 エステ分野	授業形態	演習	総時間 (単位)	60(4)	開講区分 曜日・時間	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>サロンワークを通じてエステティシャンとしての職業を体験し、働くイメージを持つことができるようになる  サロン開設のシミュレーションを通じてメニューの考案、金額設定、顧客のニーズを知る  顧客管理の必要性を学び、カルテ管理やカウンセリングの実践ができるようになる  (エステティシャンであり、店長として店舗運営を経験した教員による授業である)</p>							
【授業を通じての到達目標】							
<p>サロンワークを通じて、サロン運営の仕組みを知り、エステティシャンの仕事の内容を理解し、実践することができる</p>							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
AEAサロンマネジメント、その他毎授業時に配布				授業によって自宅課題あり			
回	授業概要					テスト配点	
1	エステダム化粧品に触れる						
2	エステダム化粧品講習会を受講する/サロン利益について考える					小テスト5点	
3	エステダム講習会を受講する/サロン利益について考える						
4	サロン準備/サロン営業日					小テスト5点	
5	サロン営業日						
6	顧客のニーズに合わせて提供する技術を学ぶ(痩身テクニック)						
7	顧客のニーズに合わせて提供する方法を学ぶ(販売ロールプレイング)					中間試験20点	
8	技術チェックを通じて自分の技術の見直しをする						
9	顧客のニーズに合わせて提供する方法を学ぶ(販売ロールプレイング)					小テスト5点	
10	サロン営業日						
11	サロン営業日					小テスト5点	
12	サロン営業日/季節に合ったメニューを考案し、相モデルに実施する						
13	技術チェックを通じて自分の技術の見直しをする					小テスト5点	
14	サロン営業日						
15	サロン営業日					定期試験 60点	
【特記事項】				【評価について】			
				<p>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</p> <p>●評価  A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)  D評価(60～69点)  E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)</p> <p>●評価方法  評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</p>			

科目名	業界特別授業※集中授業	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	黒谷
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 1	開講区分 曜日・時間	後期 集中授業
学科-コース	トータルビューティ科 エステ分野						
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
社会人、企業人として、企業社会に円滑に移行するために、社会人の仕組みやマナーについて理解し、対応力を身につける。エステ分野に詳しい職員から、総括的に教わる。							
【授業を通じての到達目標】							
・社会人としての知識・教養を深め、業界人になる自覚を持てるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
マニュアル/その他毎授業時に配布。				授業によって自宅課題あり。			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	「社会人基礎」 会社で働く上でのルールを知る/禁止事項や懲戒事例を学ぶ						
2	「メモの書き方」「売上管理」 店頭にいる際のメモの取り方/売上の仕組み/売上の作り方/売上を作る意識						
3	「社会人の身だしなみ」 接客をする上で必要な身だしなみ、メイクの基礎を身に付ける						
4	「最新美容機器体験」 最新美容器具を実際手にとって体験し、別カテゴリーの美容についての知識を深める						
5	「他社比較」 痩身/脱毛/リラクゼーションごとに他社比較を行う						
6	「お客様の性格を知る」 自分のタイプを把握し、また、別タイプの心理を理解する事ができるようになる						
7	「マネー教育」 将来かかってくるお金の仕組みを知る						
8	「社会人の心構え」 社会人になる為の心構えを学ぶ						
【特記事項】				【評価について】 業界特別授業は出席評価とする			

科目名	ファッション総合演習Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	武藤 和也
学科・コース	TB科ファッションコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) パーソナルスタイリスト歴12年の実績と1000人以上のスタイリング経験を活かし、装うことで「似合う、魅力的に見える」要素を理解する。自身のパーソナルな装いからお客さまが望むスタイリング提案ができるように、洋服の様々な要素や見方、分析や分類を習得していく。 講師は、アパレルブランドにて個人売り上げ全国トップの成績を基に構築したカリキュラムを行い、アパレル業界に通用する即戦力の人材を育成する。							
【授業を通じての到達目標】 アパレル業界に携わることに際して、スタイリングイメージの構築と分類、簡潔でロジカルな提案は即業界で役立つ知識と経験として重要である。 スタイリングの基本となる、シルエット、テイスト、サイズ、素材、色の影響化における印象の理解と習得を目指し、TPOをわきまえたスタイリングイメージをロジカルにプレゼンができるようにする。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
オリジナルテキスト スライドショーによるレクチャー				課題テキストの作成 課題スタイリングの作成 授業内容の復習			
回	授業概要						テスト配点
1	バランスの概念 シルエット編 概要 ショップリサーチ						出席状況 授業態度
2	バランスの概念 シルエット編 プレゼン スタイリングマップの作成						出席状況 授業態度 課題テキストの提出 スタイリング内容
3	バランスの概念 テイスト編 ユニバーサルスタイルミックスコーデ 概要 ショップリサーチ						出席状況 授業態度
4	バランスの概念 テイスト編 ユニバーサルスタイルミックスコーデ プレゼン スタイリングマップの作成						出席状況 授業態度 課題テキストの提出 スタイリング内容
5	バランスの概念 体型分析編 4大体型のスタイリングについて スタイリングマップ作成						出席状況 授業態度
6	バランスの概念 体型分析編 顔の輪郭とデコルテラインのバランスについて 体型カバーについて						出席状況 授業態度
7	バランスの概念 素材編 素材の分類について 素材コーディネートについて シーズン表の作成 季節、TPOの素材分類表の作成						出席状況 授業態度
8	バランスの概念 素材編 素材の分類について リサーチ 西日暮里へ						出席状況 授業態度
9	バランスの概念 素材編 素材シーズン表の作成 素材をメインとしたスタイリングプレゼン						出席状況 授業態度 課題テキストの提出 スタイリング内容
10	バランスの概念 色合い編 カラーコーディネートについて ショップリサーチ						出席状況 授業態度
11	バランスの概念 色合い編 カラーコーディネートについて プレゼン パーソナルカラーについて、実践						出席状況 授業態度 課題テキストの提出 スタイリング内容
12	バランスの概念 色合い編 パーソナルカラーの実践 フォーシーズンカラー表の作成						出席状況 授業態度
13	バランスの概念 色合い編 パーソナルカラーを活かしたスタイリングプレゼン						出席状況 授業態度 課題テキストの提出 スタイリング内容
14	1年間総括セミナー作成 リサーチしても良い						出席状況 授業態度
15	1年間総括セミナー						出席状況 授業態度 課題テキストの提出
【特記事項】 授業内容は進行状況により変更することもある。				【評価について】 ●すべての課題の提出 課題テキストと課題スタイリングの内容 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ファッションメイキング	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	若井りさ
学科・コース	FA	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	曜日・時間
						水曜日・3～4限	
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
スタイリストとしてのキャリアは40年以上となる講師が、国内外の企業広告、各種ファッション雑誌、雑貨・インテリア、流通宣伝のスタイリングを経て、アーティストのライブ衣装製作とスタイリングの他、企業のマーチャндаイズデザイン、カタログ撮影プロデュース、ノベルティデザイン、広告プロデュース、ディレクション等、多岐にわたる活動の中で得た、必要な基本技法、シルエット構成の仕組み、バックヤード作業、撮影時に於ける調整などの技術と組織の知識、着せつけの基本技術などを体得することにより、ファッション衣料に関わる急な対応ができるように、その基本となる作業工程を自ら組み立て考察できるようにする。							
【授業を通じての到達目標】							
洋裁・アイロン・ミシンなどの基本技法を習得し撮影時や接客時に必要な知識と技法を身につける。技法の組み合わせによって作品を仕上げ提出する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
使用素材などは都度確認連絡とします。							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	4/12：手縫いの基本①：なみ縫い・まつり縫い・返し縫い・アイロン シーチング生地、縫い針、糸、ハサミ						
2	4/19：手縫いの基本②：シーチング生地、裁縫道具一式・アイロン					4点	
3	4/26：スカーフ生地のふちとアイロン サテン生地・裁縫道具一式						
4	5/10：スカーフのふち・アイロン・衣類の裾上げ、私物の直し・アイロン					4点	
5	5/17：小さな熊の縫いぐるみ①：なみ縫い・返し縫い：アイロン シーチング生地・中綿						
6	5/24：小さな熊の縫いぐるみ②：なみ縫い・返し縫い：アイロン					4点	
7	5/31：中間試験：手縫いの基本、クマのぬいぐるみ、スカーフ生地：アイロン					中間テスト・20点満点	
8	6/7：ギャザースカートの生地買い出し・ミシンの使い方 コットンプリント生地買い出し						
9	6/21：ギャザースカート製作①					2点	
10	6/28：ギャザースカート製作②						
11	7/5：ギャザースカート仕上げ③					4点	
12	7/12：ペーパードレス①					2点	
13	7/19：ペーパードレス②						
14	8/30：ペーパードレス③						
15	9/6：定期試験：ギャザースカート・ペーパードレス					前期定期試験・60点満点	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</li> <li>●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>			

科目名	ファッションビジネスⅢ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	前嶋
学科・コース	トータルビューティ科ファッションコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) パーソナルスタイリスト歴12年の実績と1000人以上のスタイリング経験のある講師が担当する。、装うことで「似合う、魅力的に見える」要素を理解する。自身のパーソナルな装いからお客さまが望むスタイリング提案ができるように、洋服の様々な要素や見方、分析や分類を習得していく。 また、某アパレルブランドにて個人売り上げ全国トップの成績を基に構築したカリキュラムを行い、アパレル業界に通用する即戦力の人材を育成する。							
【授業を通じての到達目標】  ラグジュアリーブランドについて、ブランドの成り立ち、知識・デザイナーについて学び・理解することができる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	フィールドリサーチの基本的確認と注意事項 ・ファッションリテールの業態別の特徴 ・日本のファッショントレンド(MD構成)の把握						予習:シラバスの読み込み
2	フィールドリサーチ①ラフォーレ原宿 ヤングコンセプトを中心に気になるブランド、施設全体のリサーチ						復習:リサーチレポート
3	フィールドリサーチ②ルミネエスト 駅ビル系ショップを中心に気になるブランド、施設全体のリサーチ						復習:リサーチレポート
4	フィールドリサーチ③渋谷109 ヤング・ティーンを中心に気になるブランド、施設全体のリサーチ						復習:リサーチレポート
5	第一回 フィールドリサーチまとめディスカッション ①②③をまとめ、各業態の特徴を整理						総括:グループプレゼン
6	フィールドリサーチ④神南界隈のセレクトショップを中心に気になるブランド、施設全体のリサーチ						復習:リサーチレポート
7	フィールドリサーチ⑤渋谷界隈のファストファッションを中心に気になるブランド、施設全体のリサーチ						復習:リサーチレポート
8	第2回 フィールドリサーチまとめディスカッション ④⑤をまとめ、各業態の特徴を整理						総括:グループプレゼン
9	フィールドリサーチ⑥渋谷ヒカリエ 3F~4Fを中心に気になるブランド、施設全体のリサーチ						復習:リサーチレポート
10	フィールドリサーチ⑦銀座SIX コレクションブランドを中心に気になるブランド、施設全体のリサーチ						復習:リサーチレポート
11	フィールドリサーチ⑧表参道ヒルズ コンセプトショップを中心に気になるブランド、施設全体のリサーチ						復習:リサーチレポート
12	第3回 フィールドリサーチまとめディスカッション ⑥⑦⑧をまとめ、各業態の特徴を整理						総括:グループプレゼン
13	フィールドリサーチ⑨新宿伊勢丹 コレクションブランドを中心に気になるブランド、施設全体のリサーチ						復習:リサーチレポート
14	フィールドリサーチ⑩新宿高島屋 ミセス・アダルトブランドを中心に気になるブランド、施設全体のリサーチ						復習:リサーチレポート
15	今までリサーチしてきた情報を整理し、今シーズンのトレンドをテスト別に分けMAPを作成、ディスカッション						総括:グループプレゼン
【特記事項】 調べたブランドの成り立ち・デザイナーも併せて調べ、時代の移り変わりどどのようにリンクしているか考察をする。				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			



科目名 (英)	セルフブランディング演習Ⅲ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	矢澤 勇
学科・コース	トータルビューティ科ファッションコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ショップ販売員・モデル活動を経て現在はスタイリストとして活動している講師が様々なお客様へのスタイリング方法を教え、またスタイリストとしての仕事について実習・講義を行い学生たちがアドバイザーだけではなくスタイリストアシスタントとしても活躍できる知識を得ることができる。							
【授業を通じての到達目標】  自分自身のアピール方法を学び発信方法を身につけることができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	シーン別セルフコーディネート① 自分のテイストとTPOに合ったコーディネート習得できる						
2	シーン別セルフコーディネート② ブランドコンセプトに合ったコーディネート習得できる					4	
3	シーン別セルフコーディネート③ レセプションやパーティなどのコーディネート習得できる						
4	自己分析① 自分の苦手なテイストをなくす事が出来る						
5	自己分析② 自分の苦手なテイストをなくす事が出来る					4	
6	セルフトータルコーデチェック ヘア・プレゼン・コーディネートのプランチェックが出来るようになる						
7	中間テスト(20点) セルフトータルコーディネートを行う					20	
8	ニーズにあったコーディネート ニーズにあったコーディネートを習得する事ができる						
9	クライアントとのコミュニケーション① クライアントとのトーク術を習得できる					4	
10	クライアントとのコミュニケーション② クライアントとのトーク術を習得できる						
11	トータルコーディネートチェック① コーディネートプランチェックが出来るようになる					4	
12	トータルコーディネートチェック② コンセプト、フェイスチャートを作成できるようになる						
13	トータルコーディネートチェック③ スタイリングチェックを行う事が出来る					4	
14	トータルコーディネートチェック④ プレゼンチェックを行う事が出来る						
15	定期テスト(60点) ファッションメイキングで作成したアイテムを使用しコーディネートを作成する事が出来る					60	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ファッションIT演習Ⅲ	必修 選択	必修	年次	2年次	担当教員	株式会社 TFL
学科・コース	トータルビューティー科 ファッション専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>東京ファッションテクノロジーラボ(TFL)は、2017年の設立以来ファッションとテクノロジー・CG・映像など複数領域の知見を組み合わせた教育を展開し、さらにテクノロジーの産業活用を研究するAI・バーチャルファッション・デジタルツインなどの学内の研究会で得られた新技術やノウハウを、教育カリキュラムとして人材育成に還元しています。</p> <p>このTFLの教育ノウハウを活用し、今後増大するDX(デジタルトランスフォーメーション)化推進のニーズに対応した人材を育成していきます。</p> <p>目的:ファッション3Dモデリングスキルを習得し、業界の川上から川下まで、様々な場面で人材ニーズの多いDX対応人材を育成する。</p> <p>概要:ファッション3DCADソフト「Browzwear」を活用し、2Dパターン(型紙)データ・テクスチャ(生地表面質感/生地物性)データから、ファッションアイテムのCG作成、3DCGでのスタイリング、ECサイトのささげ代替可能な精緻なファッション3DCGを作成するスキルを習得し、学生のキャリア形成の可能性を広げ、業界の発展に寄与する。</p>							
【授業を通じての到達目標】							
Browzwearの基本操作習得と軽衣料(SS商材)の形状仕上げ オリジナルデザインの3DCGを出力、プレゼンテーションする							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	オータムウインターデザイン						
2	オータムウインターデザインⅡ					5点	
3	オータムウインターデザインⅢ						
4	中間評価・プレゼンテーション					5点	
5	オータムウインターデザインⅣ						
6	オータムウインターデザインⅤ					5点	
7	オータムウインターデザインⅥ						
8	中間テスト:用語と基本操作/ファッション3DCGアワード制作1:デザイン検討/生地検討					20点	
9	ファッション3DCGアワード制作2:3Dモデリング個別制作/生地決め/デザイン・パターン打ち合わせ						
10	ファッション3DCGアワード制作3:3Dモデリング個別制作/パターン作成						
11	ファッション3DCGアワード制作4:3Dモデリング個別制作/生地(テクスチャ・物性)データ取得						
12	ファッション3DCGアワード制作5:3Dモデリング個別制作/中間チェック					5点	
13	ファッション3DCGアワード制作6:個別制作/ブラッシュアップ						
14	ファッション3DCGアワード制作7:個別制作/ブラッシュアップ/レンダリング設定						
15	前期末試験:3DCG作品評価/ファッション3DCGアワード審査会					60点	
【特記事項】				【評価について】			
				<p>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</p> <p>●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)</p> <p>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</p>			

科目名	卒業研究(撮影)	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	菊地 慶
学科・コース	トータルビューティー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15(1)	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 最新のトレンドを学び、新しい技術を身につける。学んだ知識や技術をモデルに施術し、撮影し作品を残す							
【授業を通じての到達目標】 自身の技術を作品撮影に提供できるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	撮影コンセプト作成 モデル施術練習 衣装決め・場所決め					40点	
2							
3							
4							
5	モデル施術実施 撮影フレーム作成 作品撮り実施					60点	
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</li> <li>●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>			

科目名	検定対策Ⅲ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	坂本 龍一
学科・コース	トータルビューティ科ファッション専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
色を扱うプロフェッショナルの知識とコミュニケーションを兼ね備えた講師がパーソナルカラー検定合格に向けた基礎理論から応用理論を講義する							
【授業を通じての到達目標】							
パーソナルカラー検定取得を目指し、感覚的な似合う・似合わないを超え、論理的で応用できる幅広い色彩技能を身につけることができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
色彩技能パーソナルカラー検定モジュール1・2公式テキスト 問題集							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	パーソナルカラー基礎編1、2						
2	パーソナルカラー基礎編3、4					4	
3	パーソナルカラー基礎編5						
4	パーソナルカラー基礎編6					4	
5	パーソナルカラー応用編1 色の属性と効果						
6	パーソナルカラー応用編2 表色系						
7	パーソナルカラー基礎編総復習(中間テスト)					20	
8	パーソナルカラー応用編3 色が見える仕組みとパーソナルカラー						
9	パーソナルカラー応用編4 配色法					4	
10	パーソナルカラー応用編5 フォーシーズンズ分類						
11	パーソナルカラー応用編総復習①					4	
12	パーソナルカラー応用編総復習②						
13	パーソナルカラー分析診断①					4	
14	パーソナルカラー分析診断②						
15	パーソナルカラー総復習(定期テスト)					60	
【特記事項】 12月上旬にパーソナルカラー検定受験予定				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			